

●カヌー体験の実施 9月17日(土)実施

まだ笠置の紅葉にはほど遠い感じがしますが、水に親しむには適期かもしれませんね。去年は非常に寒い11月23日でした。今年は藤田カヌーさんと早くから交渉を重ね、適期に開催出来ました。特に初心者にご参加いただきたく、また小学生の皆様に変更して川面から木津川の景色を眺めていただきますことを目的にしました。木津川は三重県伊賀市の伊賀盆地で柘植川と合流して伊賀盆地を利用した遊水地を形成し、府県境の岩倉峡谷を経て笠置に到達しています。そして笠置を過ぎると一度に風景が変わってごつごつした岩の風景から白砂がたなびくゆったりした景色に代わります。ここまでに大昔の和同開珎を鑄造した銭司遺跡や恭仁京遺跡を少し過ぎ、木津川市加茂町を過ぎますと大きな砂州が表れゆったりした木津川の流れになります。木津川が砂河川であることになり、そして一番新しい鹿背山にかかる府道木津川大橋、JRの鉄橋、国道24号線の泉大橋が表れ山城町の90度の大曲にさしかかり、さらに川幅が広がります。泉大橋の手前に平重衡の首洗池と不成柿(ならずがき)があり、24号線を泉橋寺の大きな石地藏さんが姿を現します。そしてさらに下ると旧奈良街道の橋脚の跡が川の中に現れます。そして急角度で西に流れていた木津川が急角度で北に流れが変わり大曲にさしかかり、川幅が500mにまで広がってゆきます。曲りきると開橋が表れます。このように木津川はまさに歴史の川であります。この取り組みは2022年度の京都府地域交響プロジェクトの交付金を受けて(13日現在決定通知が届いていませんが)実施しようとしています。

2022年度

カヌー体験参加者募集

やましろ里山ではカヌー体験は日常活動で体験できる場所はなく、ライフジャケットの貸着の機会にも恵まれることもなくプールで水に慣らすことでもらいしめないのである。またそうした場合の中で今回の企画は本当に貴重な体験できる機会である。大いに生かしてほしいと思います。今回お願いいただくのは会田厚司の藤田カヌー様の全面的な協力を得て実施することになりました。木津川は一般河川ですが初心者向けの笠置渡りを使って期間だけと貴重空間を大いに生かしていたダキタイ。また70名程度のやましろ里山の定例や川の生き物についても学習できる機会にしたと思っています。よろって応募をお願いします。

9月17日(土)

集合 9:30 解散 12:30 回開観守で集合ください
 参加人数 一人のり20艇 二人乗り3艇 30人
 参加費 大人3000円 小学生2000円 当日受付で小学生
 参加申し込み ホームページを参照 先着順で艇の切り
 振付 森林を川を渡ること 水筒 タオル 濡れてもいい服装
 開催場所 京都府地域交響プロジェクト
 問い合わせ 里山の会 0774-61-1183
 里山(当日) 090-7100-3129
 申し込みオーバーの場合は、自動的に受けできません




この取り組みは京都府地域交響プロジェクトの交付金を受けて実施しています

●今年もアサギマダラ飛んでくるかな

世界中の蝶々の仲間で2000kmを飛び、海を越えて渡りをする蝶としてアサギマダラが有名です。この蝶々はフジバカマの蜜を好んでいるので、ビワコバレイ(比良山)などでよく観察されています。京田辺市でもフジバカマの栽培があちこちでされるようになりアサギマダラの飛来が見られるようになってきました。里山の会も数年前から栽培に取り組んできました。年間幾度かその姿を確認してきて撮影に成功しています。今年は70本程のフジバカマがきれいに咲きだしています。見に来てください。マーキングし、渡り先で確認されると嬉しい便りになるので、子どもも大人にも魅力ある取り組みになります。今年も飛来してくれればいいなあと期待しています。

●自然環境保全京都ネットワークの役員会が開かれました。9月12日

今年6月に自然環境保全京都府ネットワークの皆さんがヤマトサンショウウオの生育地の生き物調査を実施していただきました。その会の活動の目的は、自然の生き物たちの収集者(府下一円の方々)が高齢化で成果物の保存先が見つからないので、貴重な資料が廃棄されてしまう運命にあるので京都府には博物館がないので実現したいという目的でもう5年も活動を続けている団体です。この間コロナで対面での役員会が久しぶりに開かれ12名が顔をそろえました。12月3・4日に静岡県の博物館見学と：柿田川でのアユの産卵(ふつうは昼間はめったに見られない)が目視できることと翌日博物館実現への運動を学ぶためにお尋ねすることが決まりました。現地集合現地解散で前日(後日)だけでもの参加もできますのでぜひ多くの皆様のご参加を呼びかけよう

決定しました。参加申し込み受け付けは後日になりますが、ご都合をつけてご参加の用意をお願いします。

●竹蛇籠製作講習会嵐山で実施 10月10日が初日 参加者募集

保津川漁業さんや京の川の恵みを活かす会の皆さんそして京都大学防災研究所の方々それに自然環境保全京都府ネットワークの方が一堂に会して伝統的河川土木の技術の一つを学びあう場を保津川嵐山（松尾橋上流右岸 200m）の公園で開催いたします。里山の会は最もむつかしい底辺部を作っておいて籠網の部分の指導しようとして計画をしています。そのためには真竹の用意を国交省淀川河川事務所木津川出張所に依頼をいたしました。10月5日には第1回分50本（直径7cmで長さ7m）の納入をお願いしています。そして玉水橋東詰めのカルバートの竹割機や幅精製機を設置して幅4.5cmの素材を用意いたします。今回保津川で使用する竹蛇籠は4mの長さの蛇籠8本ということなので10日を初日として15日16日の3日間あるので余裕をもって製作できるのではないかと考えています。できるだけ多くの人々に竹細工を経験していただけるものと思っています。里山の会から指導にあたっていただける皆さんは、福井波恵さん 森島保さん、太田敏之さん、有田勉さんなど昨年中聖牛設置に腕を発揮していただいた方々にお願いしようと思います。

この竹蛇籠の設置場所は保津川の本川の第5号井堰に作られている魚道の修復として試みるものです。竹蛇籠設置は11月5日6日に栗石投入をして竣工させる予定です。川の中ほでするので流水を分けて作業をしなければなりませんので、かなりの困難な作業になる土木作業が予想されます。人海戦術にもなりますのでより多くの皆さんのお力をお貸してください。

来る10月10日の竹蛇籠製作にご参加を切にお願いいたします。作業内容は誰でも気楽に行える内容ですぐに覚えられますのでお越しください。ご参加をお待ちしています。いずれも9時30分から作業開始で12時30分には終了します。なお午後からの作業は自由参加としています。

竹蛇籠製作講習会 参加者募集 川普請に参加を

自然に優しい伝統的河川工法を現在に生かしましょう
一昔前まではどの川でも活用されていました。
自然の材料で川を収めてきました。
今では大井川と木津川だけで使用されています
小さな魚が身を隠すことができる魚にやさしいすみかともなります。

あなたの手でアユの遡上を助けましょう

初日	10月10日(月)	10月15日(土)	10月16日(日)
場所	保津川 右岸 松尾橋上流 200m 公園 駐車場あり 10台程度 嵐山東公園		
作業開始時間	9時30分~12時30分 午後は自由参加 高木あり(木陰があります)		
服装	作業ができるもの 帽子 水筒 手袋 しっかりした靴 タオル		
募集人数	毎日30人~40人(参加時間制限なし 早退も可能 できるだけ遅刻しないように)		
申し込み先	fddb257@ybb.ne.jp 氏名 住所 電話 参加日 年齢 性別 交通手段(自家用 阪急 バス等)		



主催 やましろ里山の会 京田辺市田辺深田15 0774-64-4183
協力 京の川の恵みを活かす会 京都大学 NPO やましろ里山の会 自然環境保全京都府ネットワーク
国交省近畿整備局淀川河川事務所 京都府